

卓球競技実施要項

期日:2019年6月1日(土)

場所:東和薬品RACTABドーム

(大阪府立門真スポーツセンター)

1 競技規則

2019年度の全国障害者スポーツ大会競技規則及び競技実施要項により行う。

2 競技方法

(1)ブロック分けは、競技規則に基づき、障がい区分、年齢等により区分を分ける。

(2)試合は、トーナメント形式を原則とし、出場選手が3人の場合、リーグ形式とする。

また、出場選手が4人以上の場合は、3位決定戦を実施する。

(3)出場選手の少ないブロック(競技区分)は、別のブロック(競技区分)の者と一緒に競技をすることがあるが、順位の決定、記録の認定及び表彰は、それぞれのブロック(競技区分)別に行う。

(4)1マッチは5ゲームズからなり、3ゲームを先取した競技者を勝ちとする。タイムアウト及び促進ルールは摘要しない。

3 競技用具

競技規則に基づき、使用球はホワイト(40mmプラスチック)、使用台はブルーとする。

4 番号布(ゼッケン)

番号布は、主催者側が交付したものを使用し、背部に着用すること。

5 招 集

(1)招集は、所定の場所で行うので、競技役員の指示に従うこと。

(2)招集は、放送・掲示等で行う。試合コートに集合しない場合は、再度呼び出し等を行うが、10分を経過しても集合または確認できない場合は、棄権とする。

6 開始式・閉式

(1)10:00より開始式を行うので、指定された場所に集合すること。(予定)

(2)閉式は、競技終了後に行う。

7 表 彰

(1)各種目、1位、2位、3位の選手にメダルを授与する。

(2)表彰は、ブロック別の競技終了後直ちに行うので、表彰アシスタントの誘導に従い指定された場所に移動すること。

8 その他

(1)下肢障がい者で義肢・松葉杖等を使用する者は、支障がない範囲で接触面にあてがう布・カバーを用意すること。

(2)競技用の服装については日本卓球ルールに基づく。ボールが見えにくくなるようなデザインや色は使用できず、ボールの色と明らかに違う色でなければならない。ただし、審判長の許可があればその限りでないため、身体の障がいによりルールに定められた服装の着用が困難な者については申し出ること。